

学年	中学1年	教科	美術	科目	美術	単位数	2
教科書名		美術1 発見と創造（開隆堂）		副教材名	表現と鑑賞 東京都版（中学校美術鑑賞研究会）、画材など		
コース・クラス		中高一貫					

I. 目標

- ・図画工作で培われた感性や表現・鑑賞における基礎的な能力などの学習経験を生かし、美術での資質や能力向上と豊かな人間性の形成を図る。
- ・また、ものを作る過程で教材や道具を安全、大切に扱うことを学び、マナーやルールを守ることを身に付けさせる。

II. 授業のねらい

- ・身近な人をスケッチさせたり、身の回りの動植物を表現させる題材から「身近な人、ものへの愛着」や「生命の尊さ」を学ぶ事を課題とする。「色の性質」や色彩についての基礎知識の学習を進める。

III. 授業の進め方

- ・美術室で行う。参考作品(教員の作例、過去の生徒作品、作家の作品)の鑑賞を通して課題を理解し、そこから自分のイメージを膨らませる。
- ・頭の中で考えたことを紙の上にスケッチしてイメージと現実のギャップを感じ取らせ、足りない部分を根気よく補いながら自分のイメージに近づくよう制作させる。
- ・道具を使用する作業の場合は安全に注意し、説明に従って作業をさせる。「すずかけ祭」で作品展示を行わせる。

IV. 学習上の留意点

- ・今後の学習や制作につながるような規則正しい行動をする。自分の考え方や、課題に対する考え方を大切にする。提出物の期限を守る。
- ・作業後の後片付けをきちんと行う。個々の材料や道具には記名をして管理する。

V. 定期試験

- ・定期試験は行わず、作品提出や授業内小テストを行う。

VI. 評価方法

- ・技術的な完成度と制作に対する熱意、限られた条件の中での工夫や表現内容の豊かさ、発展性、計画性、提出期限を守れたかなどを評価の視点とする。また、小テストや出席状況や授業態度も重視する。

VII. 授業計画

学期	月	単元・学習項目	評価方法	到達目標
一学期	4	色彩学	作品提出 授業態度 実技テスト	- 色の特性を理解する。 - 色相環の成り立ちと三属性を理解する。 - 正しい混色を行う。 - 自らのイメージに忠実に、根気よく表現できる。 - 単純な形態の組み合わせで偶然見つかる形やイメージを楽しみながら構成し、「同系類似の配色」で彩色する。 - すずかけ祭で展示する。
	5	- 色の性質 - 色の三属性 - 色の効果		
	6	- 絵の具を使用してグラデーションの制作 - 鉛筆を使用してグラデーションの制作		
	7	砂絵制作 色砂を使用してテーマに従い砂絵の制作		
二学期	9	デザイン	作品提出 授業態度 実技テスト	- 与えられたテーマに沿って、資格伝達できるポスターを制作する。 - 日本の伝統的な形と色を学び、粘土による和菓子作りを通して、作る喜びと鑑賞する楽しさを学ぶ。 - 正しい手順と道具の使用方法を理解する。 - 年代に沿った大きな美術の流れを学ぶ。
	10	- ポスター制作 - 企業のコンクールに出品する作品の制作		
	11	彫塑 粘土造形		
	12	- 粘土で季節感のある和菓子を制作 - 美術史		
三学期	1	彫金	作品提出 授業態度	- 彫金の技法を学ぶ。 - 削る、彫る、腐食、磨く技法を学ぶ。 - 様々な彫金の道具を使用し、彫金技法を用いてキーホルダーを制作する。
	2	キーホルダーを制作 彫金の技術を使って、キーホルダー制作		
	3			

※ シラバスの内容（時間や事項）については、理解度やその他の都合により変更することもあります。